

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 42 週分・10 月 13 日～10 月 19 日)

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎の報告数が例年に比べやや多い状況です。

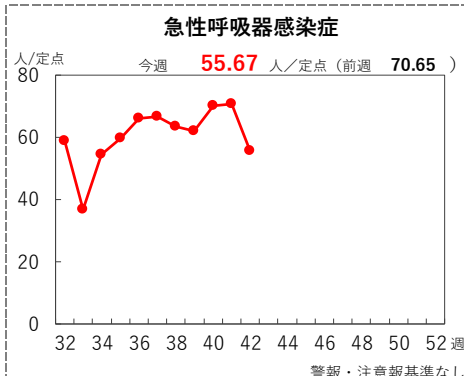
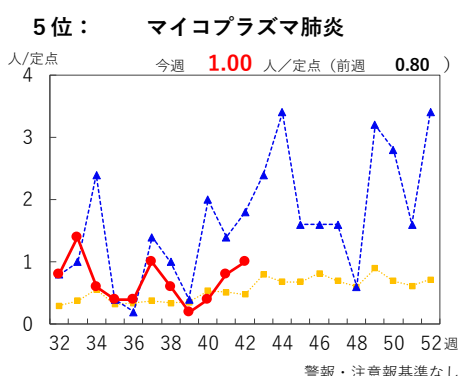
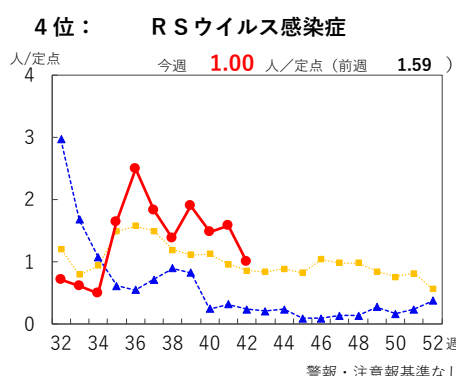
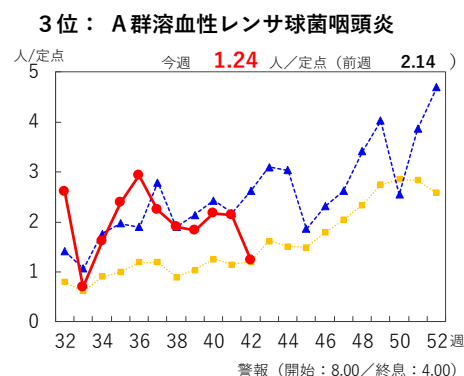
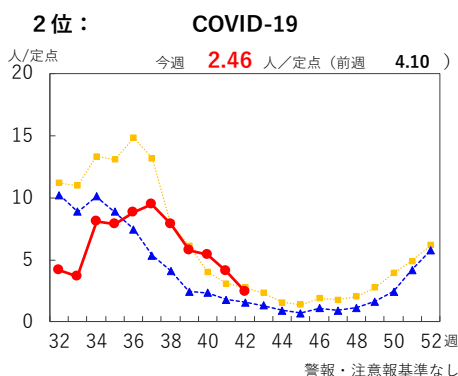
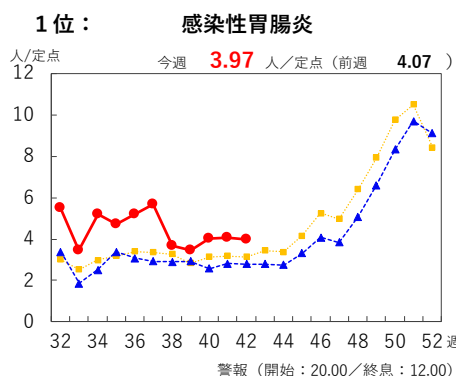
感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、例年冬季に報告数が増加する傾向があります。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。

○全国的にインフルエンザの患者報告数が増加しています。

富山県のインフルエンザ患者報告数は今週 0.63 人/定点でした。一方、全国では第 41 週時点で 2.36 人/定点の報告があり、31 都道府県で流行入りの目安である 1.0 人/定点を超えています。流行前のワクチン接種を検討しましょう（[第 39 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 42 週・10/13～10/19）



● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均 警報 注意報 流行

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

四類感染症 E 型肝炎 1 件（第 40 週診断分：70 歳代、男性）

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件（第 41 週診断分：90 歳以上、男性、C 群 G 群）

梅毒 1 件（70 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期）

百日咳 4 件（①10 歳未満、女性 ②10 歳代、女性 ③50 歳代、男性
④50 歳代、女性）





まだ安心できない百日咳！ ワクチン接種を忘れずに

《 インフォメーション 》

●百日咳

百日咳は百日咳菌によって起こる急性気道感染症で、けいれん性の激しい咳が特徴です。感染経路は気道分泌物による飛沫感染や接触感染で、感染力が非常に強いことが知られています。百日咳はワクチンで予防可能な疾病であり、小児期の計 4 回の定期予防接種が行われています。百日咳ワクチンの免疫効果は 4～12 年で減衰するとされています。

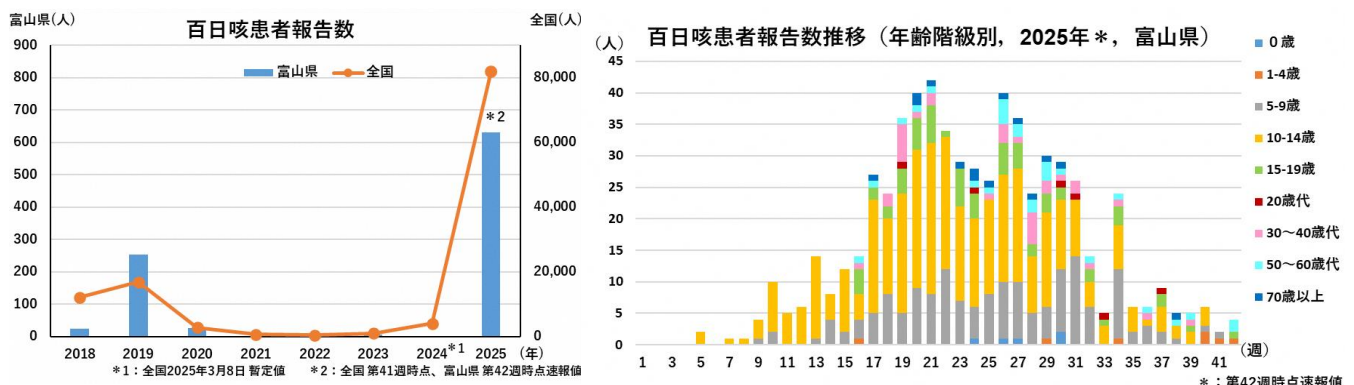
全国患者報告数は 2019 年と比較して、2020～2023 年には新型コロナウイルス感染症に対する飛沫感染症対策等の実施により減少していました。2024 年以降、患者報告数は増加傾向にあり、2025 年は第 41 週時点で 81,828 人でした。全数把握対象疾患になった 2018 年以降最多となっています（左図）。県内の患者報告数は 2025 年第 42 週時点で累計 634 例となり、全国同様、2018 年以降最多となっています。流行初期の第 13 週までは 10 歳～14 歳の小学校高学年から中学生の報告がほとんどでした。第 14 週以降は 5 歳～9 歳、15 歳以上の幅広い年齢層の患者が報告されており、第 35 週以降は減少しています（右図）。

百日咳は成人では軽症で済むことが多い一方で、乳児（特に新生児や乳児期早期）では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。2025 年 4 月には、ワクチン接種前の生後 1 カ月の基礎疾患のない女児の死亡例が報告されています（[東京都の小児病院におけるマクロライド耐性百日咳菌感染症例の検出 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)）。

富山県の感染症発生動向調査では、予防接種歴の判明した小児患者のうち 93% が 4 回接種後に罹患したブレークスルー感染でした。今回の国内百日咳流行の背景には、小児期の百日咳ワクチン効果の減衰、および 2023 年以降に緩和された新型コロナウイルス感染症対策が影響した可能性が考えられます。ワクチン接種年齢に達したら早期にワクチン接種を受けることが重要です。

百日咳の感染拡大を防ぐには、医療機関での早期診断と治療が重要です。百日咳の治療にはマクロライド系抗菌薬が用いられているため、当所では県内の 3 カ所の医療機関から検体を回収しマクロライド耐性検査を行いました。その結果、94 症例中 79 症例（84%）で分離株もしくは臨床検体からマクロライド耐性遺伝子が検出されました。

学校保健安全法では特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌薬治療が終了するまで出席停止とされています。登校可能となっても耐性菌の可能性も考えられるため、咳が続く間はマスクなどの「咳エチケット」を心がけましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第42週 2025年10月13日～2025年10月19日）

分類		疾患	今週報告分（第42週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							6	2	18	13	40	79	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	11	7	26	50	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎										5			5
		A型肝炎									1	1		1	3
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1			1
		デング熱										1			1
		レジオネラ症									1	3	3	15	22
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3			9	13
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）												1	1
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2			1	2	4	9
		侵襲性肺炎球菌感染症							5			8	4	18	35
		水痘（入院例）							1			1			2
		梅毒	1						1	5	1	8	4	28	46
	百日咳		2			1	1	4	29	141	147	44	273	634	
	風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	241	228	838	212	1,153	2,672	8,054	7,333	27,591	6,776	34,531	84,285		
		34.43	45.60	64.46	30.29	72.06	55.67								
	インフルエンザ	2	2	9	3	14	30	956	886	1,710	1,000	1,987	6,539		
		0.29	0.40	0.69	0.43	0.88	0.63								
	COVID-19	25	10	26	31	26	118	1,584	678	1,839	1,384	1,710	7,195		
小児科定点（29定点）	R Sウイルス感染症	2		16		11	29	54	54	312	57	370	847		
		0.50		2.00		1.10	1.00								
	咽頭結膜熱	1	3	1			5	75	42	302	4	104	527		
		0.25	1.00	0.13			0.17								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		10	4	20	36	152	248	1,561	203	2,168	4,332		
		0.50		1.25	1.00	2.00	1.24								
	感染性胃腸炎	22	23	4	8	58	115	1,111	675	1,485	536	4,655	8,462		
		5.50	7.67	0.50	2.00	5.80	3.97								
	水痘		2	2		1	5	10	86	50	25	299	470		
			0.67	0.25		0.10	0.17								
	手足口病					1	1	4	8	60	17	68	157		
						0.10	0.03								
	伝染性紅斑	3	1	2	6	6	18	134	327	761	148	1,227	2,597		
		0.75	0.33	0.25	1.50	0.60	0.62								
	突発性発しん	1		2	1	4	8	10	24	122	31	144	331		
		0.25		0.25	0.25	0.40	0.28								
	ヘルパンギーナ		1	2		3	6	29	52	288	62	215	646		
			0.33	0.25		0.30	0.21								
	流行性耳下腺炎		1			1	2	3	12	7	9	27	58		
			0.33			0.10	0.07								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
	流行性角結膜炎				1		1	6	19	29	26	2	82		
					1.00		0.14								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2		
	無菌性髄膜炎										1		1		
	マイコプラズマ肺炎			1	3	1	5	27	9	37	30	11	114		
				1.00	3.00	1.00	1.00								
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1			1			2	1		3		
	COVID-19による入院患者		1	1	2	4	8	122	111	99	149	297	778		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/> ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。